

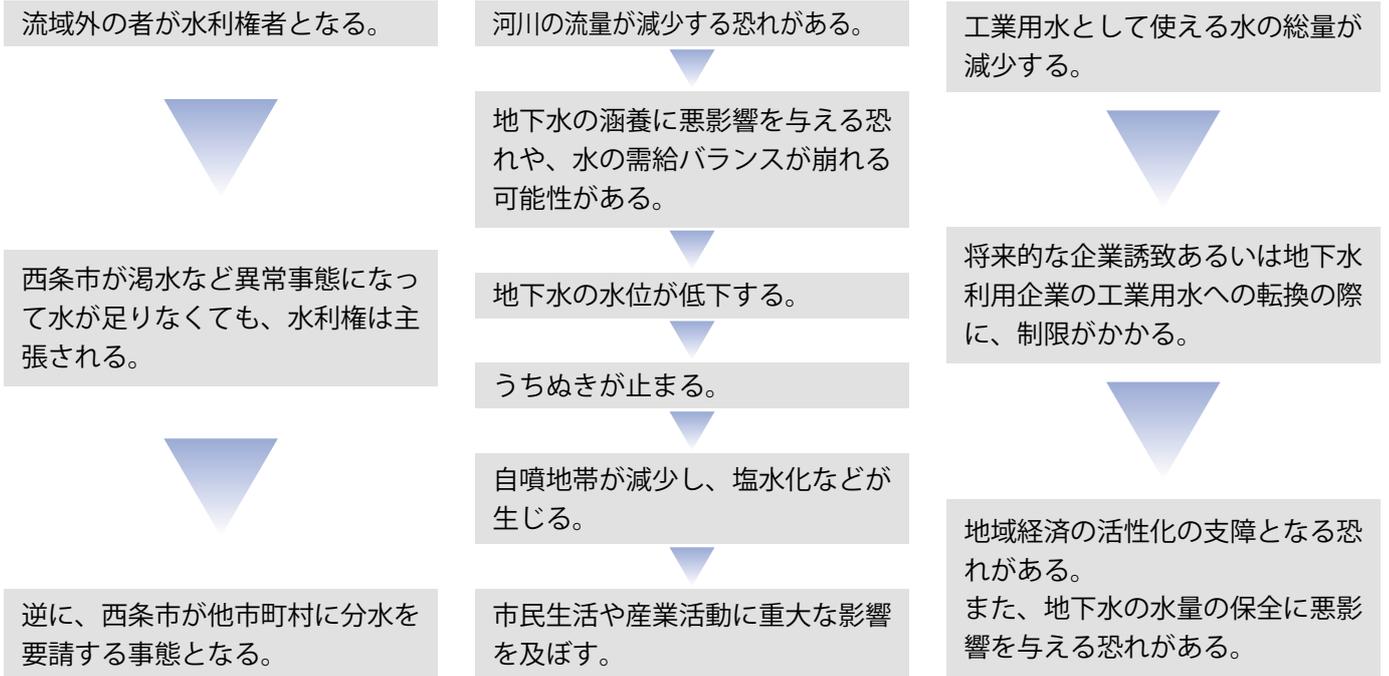
松山市への分水問題について考える

松山市への分水問題について、市では「水資源対策調査研究会」を立ち上げ、市内における今後の水需要について調査・研究を進めるとともに、皆様のご意見等を募集しています。

今回は、分水した場合どうなるか、考えてみましょう。

分水すればどうなるか、みんなで考えてみよう

分水した場合、西条市にどのような影響が出る可能性があるか、生活面・産業面から考えました。



加茂川が涵養する地下水は西条市民共有の貴重な財産です。

この地下水に何らかの影響を与える可能性のある分水について、皆さんはどのように考えていますか。ご意見をお聞かせください。

井戸水の水質検査

市では、旧西条市の地域において、年1回60カ所の井戸水の水質検査を行ってきました。

調査項目は一般項目といわれるもので、水素イオン濃度など10項目について検査を実施しています。また、12カ所については、5年に1回の間隔で全項目調査（検査項目は50項目）を実施しています。

検査結果は、すべての個所においてほぼ良好な状況となっています。

しかし、地下水は天候や自然環境に敏感に反応します。地下水位が低下すれば「うちぬき」が止まり、自噴地帯の減少や臨海部での塩水化などが生じ、市民生活や産業活動に重大な影響を及ぼします。

なお、平成18年度からは検査範囲を市域全域に拡大し、検査個所を30カ所増設し、90カ所で調査を実施する予定です。



▲検査用の水は、各観測地点の家庭用井戸水から取水し、分析機関で検査しています。

松山市への分水問題についてのご意見等や、湧き水・自噴井に関する情報をお寄せください

水資源対策調査研究会（市庁舎別館1階環境課内） TEL0897-52-1221

〒793-8601 明屋敷164 FAX0897-52-1294 e-mail kankyo@saijo-ci.jp